



か み や さち
神 谷 幸 氏

生年月日 明治 43 年 2 月 6 日生

住 所 田辺市今福町

明治 43 年 (1910 年) 2 月 6 日、西牟婁郡田辺町 (現田辺市今福町) において、神谷墨状、ミツエ夫妻の六女として生まれる。

大正 15 年 (1926 年) 3 月、田辺高等女学校卒業後、声楽家矢野寿美子女史に師事するため京都成安女子学院高等師範科に入学。

昭和 2 年 (1927 年) 4 月、幼児教育の重要性が叫ばれる中、市内の仏教関係者により昭和幼稚園が開設されると同時に、教諭として 10 年間勤務された。

昭和 12 年 (1937 年)、日中戦争が勃発し、翌 13 年 (1938 年) の春に出征兵士留守家族の子どもたちを無料で保育するため、勝徳寺内に勝徳愛児園を開設し、奉仕を続けられた。昭和 20 年 (1945 年) 8 月、終戦とともにその役目は終わり閉園となるが、保護者の強い要望があり、昭和 21 年 (1946 年) 4 月、勝徳幼稚園として発足。昭和 32 年 (1957 年) 4 月から園長の要職に就かれ幼児教育に全力を傾注された。平成 3 年 (1991 年) 3 月、事情により一時休園をし、現在に至っている。

氏は若い頃から幼児教育に大変な熱意を示され、「伸び伸びと子どもを遊ばせる」ことを重点に、寝食を忘れて幼児教育の向上、発展に尽力。その功績が認められ昭和 50 年 (1975 年) 11 月、幼児教育功労で文部大臣表彰を受けられている。

また、その豊富な経験と卓越した指導力をもって後進の指導にあたられるとともに、浄土真宗本願寺派の全国保育連盟の常任理事としても活躍されている。

このほか、民生委員としても 25 年の長きにわたり続けられ、地域の福祉向上に大きく寄与されている。

また、保護司としても昭和 33 年 (1958 年) 5 月以来 80 歳の定年に至るまで、33 年間という長期にわたり更生保護に尽力された。

氏の慈愛に満ちたやさしさ、温かさに触れて、感受性の強い子供たちの健やかな成長に貢献されるとともに、また社会更生に努力する方、恵まれない方などがどれだけ勇気づけられ、将来への希望を持つことができたか、地道な活動ではあるが、多くの人々に感銘を与えるとともに、本市の幼児教育の向上・社会福祉の充実に多大の功績を残されている。

第 22 回 (平成 3 年)

(略 歴)

大正 15 年 (1926 年) 3 月	田辺高等女学校卒業
大正 15 年 (1926 年) 4 月	京都成安女子学院高等師範科入学
昭和 2 年 (1927 年) 4 月	昭和幼稚園教諭
昭和 12 年 (1937 年) 3 月	昭和幼稚園退職
昭和 13 年 (1938 年) 4 月	勝徳愛児園開設
昭和 20 年 (1945 年) 8 月	戦争終結と同時に勝徳愛児園を閉園
昭和 21 年 (1946 年) 4 月	勝徳幼稚園開設 (教諭)
昭和 32 年 (1957 年) 4 月	勝徳幼稚園園長
平成 3 年 (1991 年) 3 月	事情により勝徳幼稚園を休園
昭和 23 年 (1948 年) 11 月	田辺市民生児童委員
昭和 33 年 (1958 年) 5 月	保護司
昭和 40 年 (1965 年) 4 月	今福町婦人会長
昭和 58 年 (1983 年) 7 月	国際ソロプチミスト和歌山紀南会長

(受賞歴)

昭和 42 年 (1967 年) 11 月	和歌山県私立幼稚園協会表彰
昭和 46 年 (1971 年) 8 月	和歌山県社会福祉協議会表彰
昭和 50 年 (1975 年) 11 月	文部大臣表彰 (幼児教育功労)
昭和 51 年 (1976 年) 2 月	浄土真宗本願寺派教育者表彰
昭和 55 年 (1980 年) 11 月	関西幼稚園連合会表彰
昭和 58 年 (1983 年) 10 月	近畿地方保護司連盟表彰
昭和 61 年 (1986 年) 7 月	浄土真宗本願寺派保育連盟表彰
昭和 63 年 (1988 年) 5 月	法務大臣表彰 (保護司)